



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月9日
東

上場会社名 株式会社ミサワ 上場取引所
コード番号 3169 URL <http://www.unico-fan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 裕之 (TEL) 03-5793-5500
四半期報告書提出予定日 平成27年12月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	6,075	6.0	158	△71.8	153	△72.9	68	△76.8
27年1月期第3四半期	5,731	26.2	563	59.8	565	60.5	296	66.7

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 81百万円(△73.0%) 27年1月期第3四半期 300百万円(83.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	9.90	9.81
27年1月期第3四半期	47.35	44.56

(注) 当社は平成27年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第3四半期	3,807	1,924	50.5
27年1月期	3,604	1,492	41.4

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 1,922百万円 27年1月期 1,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,120	6.3	210	△67.5	200	△69.8	90	△75.7	12.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期3Q	7,092,600株	27年1月期	6,256,800株
② 期末自己株式数	28年1月期3Q	441株	27年1月期	441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期3Q	6,940,772株	27年1月期3Q	6,255,852株

当社は平成27年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期末自己株式数、並びに期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用環境の回復により、緩やかな回復基調にあります。しかし、個人消費につきましては依然として回復が見込まれず足踏み状態となっております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、中国を始めとする新興国経済の情勢や物価上昇への懸念により、引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような状況のもとで、当社グループは「肩の力を抜いた暮らしの提案」というコンセプトをもとに事業を展開し、当社グループの中核事業にあたるunico事業におきましては、2015年新作カタログ発売に合わせた「カタログプレゼントキャンペーン」、unico初となる書籍「ROOM STYLE BOOK with unico」、黒板描きチョークボーイとのコラボイベント「CHALKBOY×unico 『家具に絵を描くよ展』」、遊び心を感じるモチーフが特徴の雑貨企画「TEDDY BEER」等を実施しました。また、food事業におきましては、unicoが提供する世界観やライフスタイルを補完する事業と位置付けております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、想定を超える円安による原材料・燃料費高騰のため、一部商品の売価変更を行ったものの、当第3四半期連結累計期間での厳しい経営環境を受け、売上総利益率につきましては、前年同四半期連結累計期間と比較して厳しい結果となりました。

一方、販売費及び一般管理費につきましても、「unicoハウスカード」に対するポイント引当金の計上、東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所第一部への変更に関する費用や、公募増資・第三者割当増資及び有償ストック・オプションの発行に伴うコンサルティング費用等の一時的な負担増加の影響により、前年同四半期連結累計期間と比較して厳しい結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,075,376千円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益158,845千円（同71.8%減）、経常利益153,290千円（同72.9%減）、四半期純利益68,694千円（同76.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①unico事業

unico事業における主たる売上であります家具におきましては、組み合わせ自由で様々なバリエーションが楽しめるPARALLEシリーズを新たに投入しご好評いただきました。

また、カーテンにおきましては、自社企画アイテムの拡大によりカーテン吊り下げ什器をunico全店舗で採用したこと、及びお客様のお宅にお伺いして採寸及びご提案させて頂く出張採寸取付サービスを提供したことが、売り上げ拡大に寄与しました。

店舗状況におきましては、平成27年4月にunico大分を九州地区3店舗目としてJR大分駅前の商業施設「アミュプラザおおいた」に、既存店のunico梅田を国内最大級の駅型商業施設「LUCUA 1100（ルクアイーレ）」に移転しました。また同年9月には、既存店のunico池袋を「LUMINE池袋店」に移転し、10月に当社初となるアウトレット店unico stockを「三井アウトレットパーク幕張」に、四国地区2店舗目としてunico高松を瓦町駅直結の商業施設「瓦町FLAG」にオープンしたことにより、全国合計34店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,984,963千円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は165,468千円（同70.5%減）となりました。

②food事業

Le Bistroでは、お客様のニーズに合わせた新メニューの開発や、SNSによる積極的な情報発信が、新規顧客の獲得に繋がりました。bistro oeuf oeufでは、質の高い料理とサービスのご提供により、リピーター・新規顧客共にご好評いただきました。

各店とも一時的な人員不足や人員の入れ替わりによる店舗営業体制の縮小により売上高・セグメント利益共に前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、90,413千円（前年同四半期比24.5%減）、セグメント損失は6,622千円（前年同四半期は2,437千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ202,356千円増加し、3,807,138千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加99,593千円、基幹システムの入替え等に伴う無形固定資産の増加87,713千円、店舗が増えたことによる敷金及び保証金の増加41,008千円があったことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ228,747千円減少し、1,883,122千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加81,685千円があったものの、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少210,031千円があったことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ431,104千円増加し、1,924,016千円となりました。これは主に、公募増資及び第三者割当等による資本金の増加174,053千円、及び資本剰余金の増加174,053千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表予想(平成27年6月9日)の想定に対し、当第3四半期連結累計期間におきましては、新規出店・既存店移転や家具新商品の投入・カーテン出張採寸全店舗導入等により前年同四半期連結累計期間に対して増収を維持しており、さらに販売費及び一般管理費の圧縮による利益率の改善に努めておりますが、新規出店の立ち上がりが見込めず遅れたことや、今後もさらに円安基調が続くこと、及び「unicoハウスカード」のポイント引当金の追加計上、並びに株主優待制度導入後一定期間が経過し、合理的な見積もりの基礎となる利用データが蓄積されていることに加えて、株主数の増加や本日公表いたしました株主優待制度の拡充等に伴い、株主優待による値引の重要性が増してきていることを受け、当期末に株主優待引当金の計上を見込むこと等により、平成28年1月期通期の予想を以下の通り修正いたします。

平成28年1月期通期連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,448	406	400	184	26円37銭
今回修正予想(B)	8,120	210	200	90	12円90銭
増減額(B-A)	△328	△196	△200	△94	-
増減率(%)	△3.9	△48.3	△50.0	△51.1	-
(ご参考)前期通期実績 (平成27年1月期)	7,641	646	662	369	19円70銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実績率を乗して計算しております。

(2) 追加情報

ポイント引当金

ポイントに係る会計処理について、制度導入後一定期間が経過し適切なデータの蓄積により、将来使用されると見込まれる金額を合理的に見積ることが可能となったこと、及びポイント残高の重要性が増加したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、使用実績率に基づく将来使用見込額をポイント引当金として計上しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ57,578千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	442,895	542,489
売掛金	459,653	429,723
商品及び製品	1,039,195	1,064,794
仕掛品	28,147	9,135
原材料及び貯蔵品	108,499	113,403
繰延税金資産	36,222	36,222
その他	195,123	202,623
流動資産合計	2,309,736	2,398,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	515,793	497,900
その他(純額)	128,661	131,991
有形固定資産合計	644,454	629,891
無形固定資産		
繰延税金資産	76,188	163,902
投資その他の資産		
繰延税金資産	142,519	142,519
敷金及び保証金	417,209	458,218
その他	14,672	14,214
投資その他の資産合計	574,401	614,952
固定資産合計	1,295,044	1,408,746
資産合計	3,604,781	3,807,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,486	225,252
1年内返済予定の長期借入金	331,999	359,453
未払法人税等	210,031	-
前受金	253,683	275,847
賞与引当金	55,797	137,482
ポイント引当金	-	57,578
その他	471,932	392,454
流動負債合計	1,567,929	1,448,068
固定負債		
長期借入金	502,993	393,760
退職給付に係る負債	8,504	9,780
資産除去債務	31,345	31,513
その他	1,095	-
固定負債合計	543,939	435,053
負債合計	2,111,869	1,883,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	206,283	380,336
資本剰余金	186,283	360,336
利益剰余金	1,118,206	1,186,900
自己株式	△190	△190
株主資本合計	1,510,582	1,927,384
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,670	△4,998
その他の包括利益累計額合計	△17,670	△4,998
新株予約権	-	1,630
純資産合計	1,492,912	1,924,016
負債純資産合計	3,604,781	3,807,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	5,731,998	6,075,376
売上原価	2,355,939	2,687,800
売上総利益	3,376,059	3,387,576
販売費及び一般管理費	2,812,216	3,228,730
営業利益	563,842	158,845
営業外収益		
受取利息	117	170
為替差益	3,164	-
運送事故受取保険金	3,238	4,216
その他	1,695	893
営業外収益合計	8,216	5,280
営業外費用		
支払利息	5,450	2,826
為替差損	-	6,712
その他	1,171	1,295
営業外費用合計	6,621	10,835
経常利益	565,437	153,290
特別損失		
固定資産除却損	4,506	2,688
減損損失	-	21,463
特別損失合計	4,506	24,152
税金等調整前四半期純利益	560,930	129,138
法人税等	264,729	60,444
少数株主損益調整前四半期純利益	296,200	68,694
四半期純利益	296,200	68,694

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	296,200	68,694
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,438	12,671
その他の包括利益合計	4,438	12,671
四半期包括利益	300,639	81,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,639	81,366
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月28日付で新株予約権の行使により379,800株、及び同年4月3日を払込期日とする公募増資により普通株式330,000株、並びに同年4月21日を払込期日とする第三者割当増資により普通株式126,000株を発行いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ174,053千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が380,336千円、資本剰余金が360,336千円となっております。